

# みずしるべ

国土交通省中部地方整備局  
新丸山ダム工事事務所情報誌



2007  
39

### ●今号の表紙

八百津町の材木奉行所跡近くには、樹齢300年以上にもなる「ナンジャモンジャ（ヒトツバタゴ）」の木が自生しており、5月頃には、木いつぱいに雪を積もらせたような白い繊細な花を咲かせています。ナンジャモンジャ（ヒトツバタゴ）は愛知県、岐阜県、長崎県対馬市だけにしか自生しておらず、この木も八百津町の天然記念物に指定されています。

## ふれあい すぺーす FUREAI SPACE

### 八百津町峰地区の「道づくり」

ボランティアサポートプログラム制度を活用し  
完成した国道418号の道路管理を行う

新丸山ダム建設事業に伴う付替国道418号の整備が進められている八百津町南戸峰地区では、地域のみなさんと共に快適な道路づくりを行うボランティアサポートプログラム制度を活用して、完成した道路の草刈など、日頃の道路管理を地域の方々にお手伝いいただいています。今回は、その担当窓口となり、自らも積極的に道路管理に励まれている林繁幸さんに活動を始めたいきっかけなどと共に、峰地区で古くから行われている自主的な道路管理活動「道づくり」についてお話をうかがいました。



反対側の斜面は雑草が生い茂り荒廃した様子。峰地区の方が管理する歩道側の斜面も、以前はこのような状態でした。

#### 【ボランティアサポートプログラム制度】

道路を愛し、住民が道路を我が子のように面倒をみるという考えに基づき始められたのが「ボランティア・サポート・プログラム」です。地域や企業の方々に道路の美化清掃等へご参加いただき、みなさんと共に快適な道づくりを進める制度で、実施団体、協力者（市町村）、道路管理者で協定を締結し、実施団体の活動に対し、作業用具の貸し出し・実施団体名入りのサインボードの設置及びゴミの処理等を行い、その活動を支援しています。

●詳しい内容はこちらまで…<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/volunteer/>

刈に必要な用具の提供など、国土交通省としてバックアップできるボランティアサポートプログラムという制度があるから、ぜひ、道路の管理を手伝ってほしいというお話をいただき、平成18年4月に正式な活動をスタートさせました。また、初めて1年ほどですが、どうです、見違えるようになったと思いませんか」

#### 道づくりの伝統が高まる地域の結束力

「昔の道はもちろん舗装などされていませんから、雨に流された土が溝をふさいだり、大雨で道が崩れたりします。生活に欠かせない道を使いやすく維持するために、この地域では「道づくり」と呼んで、年に2回、自主的に道路の補修や管理を行ってきました。もう百年以上も続いているでしょ」

ボランティアサポートプログラムがスタートする以前にも、草刈のほか、道路沿いの地主さんが道から見えるように桜の苗木を植えるなど、道への関心がとても高い峰地区のみなさん。どうやらその意識の高さには、古くから現在まで受け継がれている道づくりの伝統が役買しているようです。上は80歳のお年寄りから、下は親の代わりに参加する子供まで、地域が一つになって取り組む道づくりは、「結束力」という大きく大切な力も地域に与えています。ボランティアサポートプログラムを取り組みも、実は、そういった地域の結束を高めるために役立つのではという「裏事情」も教えてくれた林さん。住む人がみんなその地域を良くしようと努力しなければいけません。この言葉の通り、峰地区の里山風景からは、より良く暮らしとする人々の端々（すみずみ）に生命力が感じられるようでした。



現在は1.6kmの区間で作業を行っています。当初は、草刈機のとどく範囲で草を刈る予定でしたが、「どうせやるのだったら」と、斜面全体の草刈りを行い一面緑の景観を仕上げました。多いときで40人くらいの方が作業に加わっています。



サインボード



国土交通省中部地方整備局  
新丸山ダム工事事務所  
〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351  
ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>  
メールアドレス [shinmaru@cbr.mlit.go.jp](mailto:shinmaru@cbr.mlit.go.jp)

もしもしテレフォン  
0574-43-2780 (代)  
新丸山ダムについてどんな事でも  
お気軽にお問い合わせください。



アンケートにご回答いただいた方の中から抽選でプレゼント!

抽選で5名様 小さくたためて気軽に持ちこびできる 折りたたみパラソル



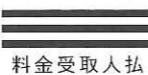
サイズ/25cm ※折りたたみサイズ  
色の指定はいたしかねますのでご了承ください。

●応募締め切りは平成19年10月31日消印有効です。当選者の発表は発送にかえさせていただきます。

新丸山ダムホームページ/みずしるベQ&A アドレス

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/12-qa.html/>

みずしるべのアンケートでみなさんから寄せられた質問とその回答は、国土交通省新丸山ダム工事事務所ホームページにも掲載しています。上のアドレスにアクセスしてみてください。これからも、みなさんの質問にどんどんお答えしていきます。



八百津局 承認 55

差出有効期間 平成19年10月31日まで (切手は必要ありません)

郵便はがき

505-0390

(受取人) 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351 国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

みずしるべ39号 アンケート係 行

氏名	性別	男・女
ペンネーム / ※ペンネームでの掲載を希望される方のみご記入ください。		
住所	〒 -	
TEL	( )	年齢 才
職業 (学校名)		



# 新丸山ダムや川づくりのすべてがわかる 教えてしんまるくん

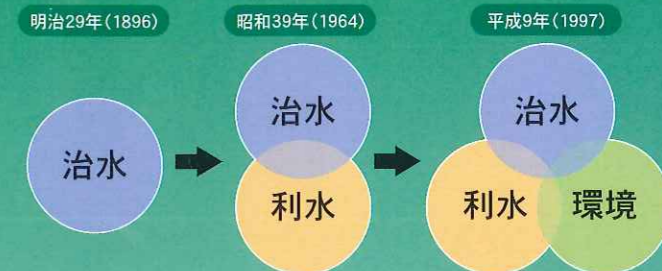


『河川整備基本方針』『河川整備計画』ってなに?

河川環境の保全を求める流域ニーズに的確に応えるため みなさんのご意見を反映させた河川整備の計画づくりを行っています。

河川法の目的として、従来の『治水』と『利水』に加えて、『河川環境の整備と保全』が平成9年の河川法の改正によって位置づけられました。これからの河川整備は、河川環境の保全を求める流域のみなさんのニーズに的確に応え、また、それぞれの河川の特性と地域の風土・文化などの実状に応じた河川整備を推進するために、地域との連携が不可欠であると考えています。

●河川法改正の経緯



このため、河川整備の計画は、

## 河川整備基本方針

河川の将来あるべき姿を目指して、長期的な視点にたった河川整備の基本的な方針に関する事項を定める

と

## 河川整備計画

20~30年後の中期的な河川整備の目標、具体的な個別事業に関する事項を定める

に区分し、後者については、流域のみなさんをはじめ、学識経験者、関係機関のご意見を反映して策定することになっています。

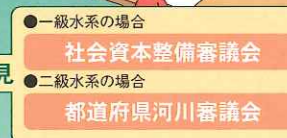
現在、木曾川水系においても、『河川整備基本方針』と『河川整備計画』の策定に向けた作業が進められており、今後、流域のみなさんのご意見をお聞かせいただく懇談会などが開催される予定です。

●現在の『河川整備計画』策定の流れ

## 河川整備基本方針

どの程度の規模の洪水をターゲットとした対策を行うか等の基本方針

### 河川整備基本方針案の作成

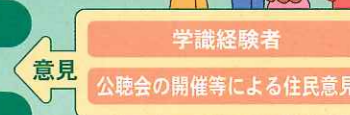


### 河川整備基本方針の決定

## 河川整備計画

主な工事内容についての計画

### 原案の作成



### 河川整備計画案の作成



### 河川整備計画案の決定

# 新丸山EMS通信

新丸山ダム工事事務所では、環境保全活動を継続的に実施していこうと『新丸山ダム環境マネジメントシステム(新丸山EMS)』に取り組んでいます。

新丸山ダム建設に伴う道路整備や今後行われるダム本体工事では、山間部における建設工事がその大半を占めています。そのため、やむを得ず工事区間にある樹木を伐採しながら作業を進めなければなりません。

新丸山ダム工事事務所では、そのままでは、廃材になってしまう間伐材を、様々な方法で利活用し、環境への負荷をできるだけ少なくするように心掛けています。

## ●様々な利活用している間伐材





## 平成19年度 事業概要

# 新丸山ダムの早期完成を目指して

新丸山ダムの早期完成に向けて事業を進めてまいります。今年度もご理解とご協力をお願いいたします。

### 用地補償関係

水没用地並びに付替道路・工事用道路の用地取得及び、発電補償・漁業補償協議等を推進します。

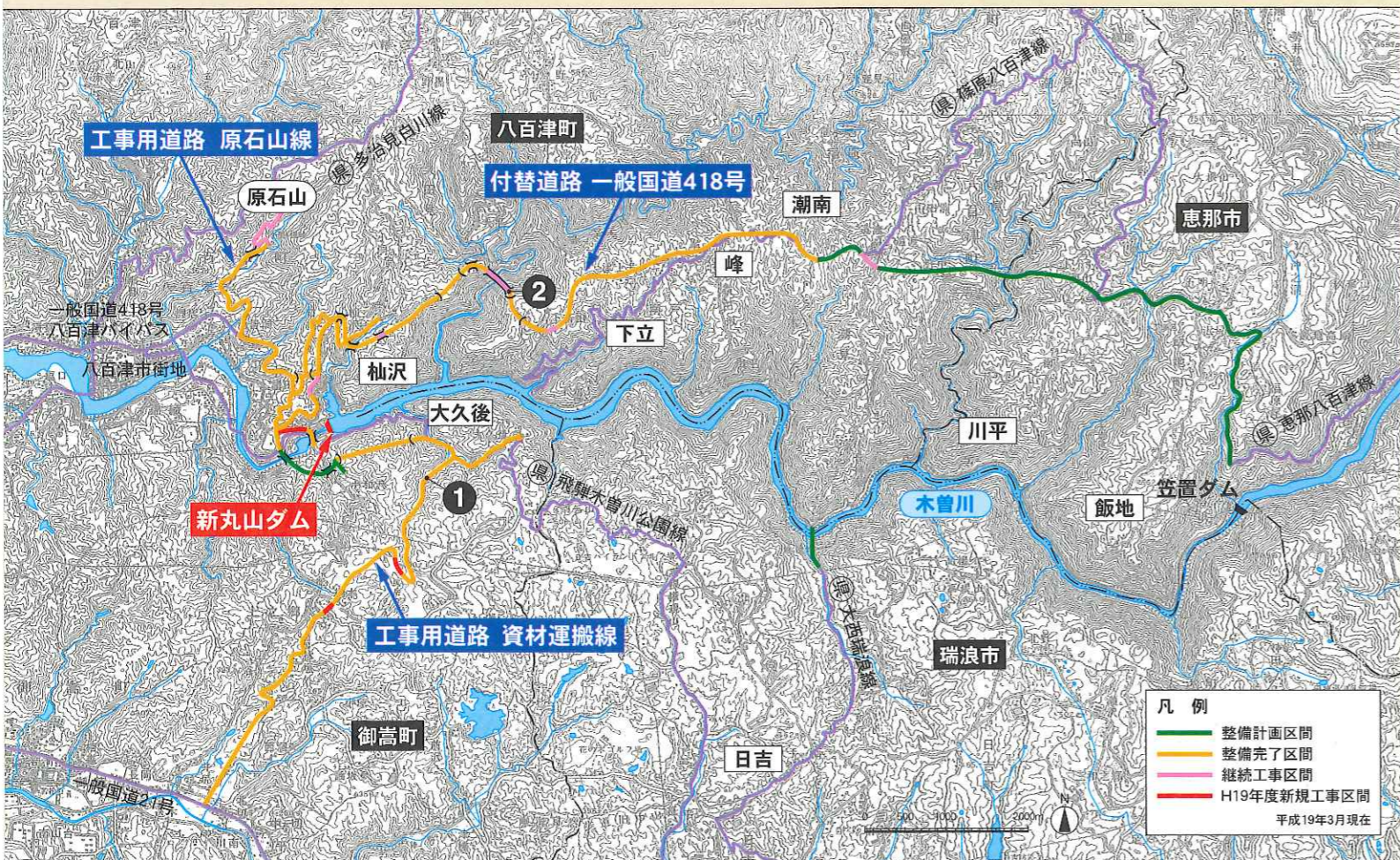
### 工事関係

付替道路(国道418号)及び工事用道路(資材運搬線・原石山線)の工事を継続して行います。なお、資材運搬線については供用開始を行う予定です。

### 調査設計関係

ダム本体の施工計画や機械設備等の設計検討及び事業に関する環境調査等(生物、大気質等)を行います。

## ●ダム建設に伴う道路建設の進捗状況



① 工事用道路・資材運搬線



② 付替国道418号・新旅足橋(左右岸)



用地測量  
事業に必要な土地の境界、面積等の測量



模型実験  
工事中の水の流れを把握するための模型を使った実験

# 1

## 事業進捗

### 新旅足橋(仮称)建設は、下部工工事を終え、今後、上部工工事にとりかかります

平成16年3月から工事を開始した付替国道418号に架かる新旅足橋(仮称)は、平成19年2月に下部工(橋脚)を完了し、今後、上部工事を開始します。

上部工は、橋脚部から左右バランスを取りながら張り出していく「片持架設工法」で行う計画ですので、橋が徐々に架かっていく様子が良く判ると思います。工事の進捗状況は、今後も、広報誌やホームページなどでお知らせいたしますので、どうぞ、ご期待ください。

実際に、張り出していく様子を見ることのできる期間は、平成20年2月頃から12月頃までの予定です。新旅足橋(仮称)建設は、順調に進めば、平成21年末には完成する見込みです。もうしばらく地元の方々にはコンクリートの運搬等でご迷惑をお掛けすることと思いますが、ご理解とご支援をお願いします。



下部工工事完了状況(平成19年2月)

# 2

## イベント

### 2006私たちの木曾三川写真コンテスト 入賞作品展覧会を開催します



展示作品の一つ「うなぎ漁」

今回で14回目を迎えた「私たちの木曾三川写真コンテスト」の入賞作品展覧会を、現在、木曾三川流域の各地で開催していますが、当事務所と八百津町ファミリーセンターでも以下の日程で実施することになりました。

「心に残る一枚～木曾三川の流に沿って～」をテーマに、今回は、410点の応募がありました。カメラに撮らえられた木曾三川の持つ様々な表情や輝きを、この機会に、ぜひご鑑賞ください。

#### 展示スケジュール

会場 八百津町ファミリーセンター2階展示場  
日時 平成19年5月14日(月)～19日(土)  
8:30～17:15

会場 新丸山ダム工事事務所展示室「新丸ふれあい広場」  
日時 平成19年5月22日(火)～25日(金)  
8:30～17:15

#### 問い合わせ先

新丸山ダム工事事務所総務課 TEL.0574-43-2780

# 3

## 事業広報

### 事業広報DVD「水をおさめ豊かなくらし」 を制作しました

当事務所では、新丸山ダム建設事業の必要性を、みなさんに広く知っていただくために広報用のDVDを制作いたしました。この中には、近年の気象状況、木曾川の特性や治水の歴史を説明するとともに、忘れぬ昭和58年9月の出水被害をふりかえり、ダム事業の必要性を分かりやすく紹介しています。

事務所1階「新丸ふれあい広場」での放映の他、イベント等の機会を利用してみなさんにご覧いただこうと考えています。その際には、ぜひ、お立ち寄りください。



事務所1階の新丸ふれあい広場でもDVD放映を行います



